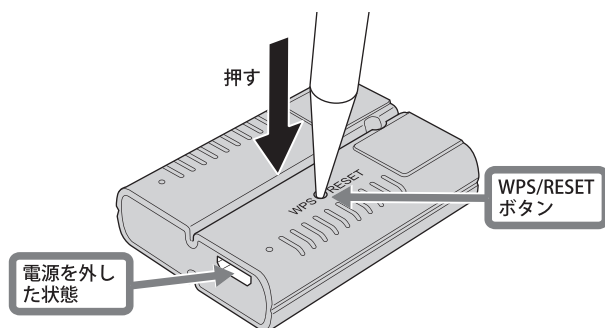


設定変更マニュアル

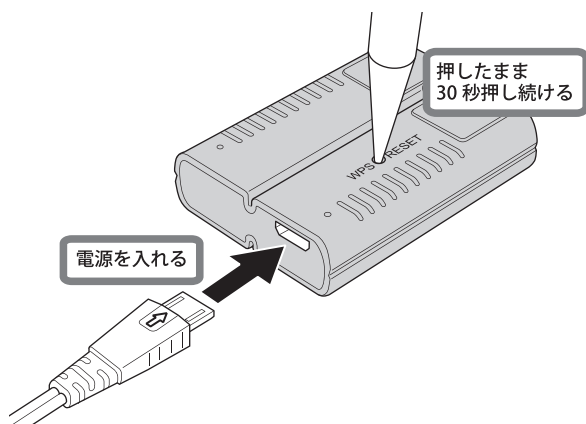
本製品のリセット方法

❗ 本製品は、従来の WRH-300x シリーズ製品とはリセット方法が異なります。以下のリセット手順でリセットを行ってください。

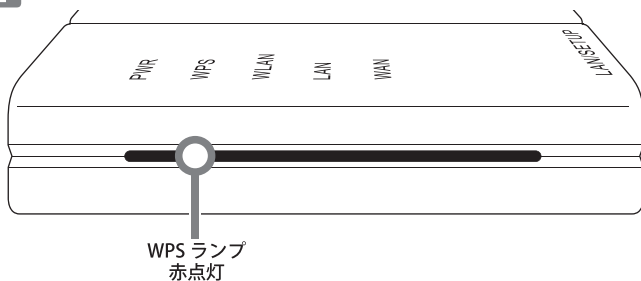
- 1 本製品を電源につないでいないことを確認します。
- 2 本製品背面の WPS/RESET ボタンをペン先など尖ったもので押します。



- 3 ボタンを押したままの状態では本製品の電源を入れ、30 秒押し続けます。



- 4 本製品の WPS ランプが赤色に点灯します。



赤色に点灯した後、ボタンを離すと本製品が再起動します。そのまま約 1 分待つと、本製品がリセット状態になります。

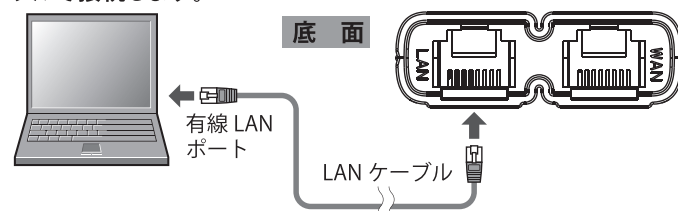
本製品の起動後 WPS/Reset ボタンは、WPS 機能としてのみ動作します。
お客様が WPS 接続操作の際に誤って、本製品をリセットしてしまうことはありません。

❏ 本製品のリセットは、管理画面からも行うことができます。
管理画面からのリセットの方法については「詳細説明書」をご覧ください。

管理画面へのログイン方法

手順 1 ルータとパソコンをつなぐ

ホテル用として詳細設定を行う場合、またはご自宅で初期設定 / 詳細設定を行う場合は、パソコンと、本製品の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。



※お客様のパソコンの設定によっては、パソコンの IP アドレスの設定 (自動取得や固定) を変更する必要があります。

手順 2 管理画面を開く

本製品の設定ユーティリティは、パソコンから Web ブラウザを使って表示します。

❏ パソコンは IP アドレスが自動取得になっている必要があります
このマニュアルでは、本製品の DHCP サーバ機能により、パソコンが IP アドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定の IP アドレスを設定している場合は、パソコンの IP アドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品の IP アドレス (初期値) = 192.168.2.1

- 1 ブロードバンドモデムと本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。
・順序が逆の場合、パソコン側が IP アドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。
- 2 Internet Explorer や Safari などの Web ブラウザを起動します。
- 3 Web ブラウザの [アドレス] 欄に、キーボードから「本製品の IP アドレス (初期値の場合 = 192.168.2.1)」を入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



・認証画面が表示されます。

❏ 認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、LAN ケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて 3 分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンの IP アドレスを確認してください。

- 4 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードにそれぞれ「admin」、「admin」と入力します。



ユーザー名	admin
パスワード	admin

・本製品の設定ユーティリティが表示されます。

❗ 不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします。

SSID/暗号キーの変更

- 1 本紙の「管理画面へのログイン方法」を参照してお使いの端末から管理画面を開きます。

SSIDの変更

ここでは、デフォルトのSSIDを「hotel102」に変更する手順にて説明します。

- 2 画面左のメニューリストから「無線設定」をクリックした後、「基本設定」をクリックします。

- 3 「1st SSID」欄に変更したいSSID名を半角英数字（最大32文字）で入力します。

基本設定
Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

マルチSSID

1st SSID: (最大32文字)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

- 4 「適用」をクリックします。

- 5 「正常に設定を変更しました!」というメッセージが表示されたら、「後で再起動する」をクリックします。

暗号キー(パスワード)の変更

ここでは、セキュリティ設定と暗号キーを次の内容で変更する手順にて説明します。

暗号化 : WPA2
WPA2暗号化スイート : AES
キーの種類 : パスフレーズ
暗号キー : 13文字の英数字

- 6 画面左のメニューリストから「無線設定」をクリックした後、「暗号化設定」をクリックします。

- 7 「1st SSID」欄が手順 3 で変更したSSID名になっていることを確認します。

暗号化設定
セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択:

- 8 暗号化方式に「WPA2」を選択します。
・「WPA2 暗号スイート」は自動的に「AES」がオンになります。

暗号化設定
セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択:

暗号化:

- 9 「キーの種類」に「パスフレーズ」を選択します。

暗号化設定
セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択:

暗号化:

WPA2暗号スイート: ☐ TKIP ☒ AES

キーの種類:

暗号キー:

- 10 「暗号キー」に、変更したい暗号キーを入力します。

- 10 ☐ 半角英数字(8～63文字)を使用できます。大文字と小文字が区別されます。

暗号化設定
セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択:

暗号化:

WPA2暗号スイート: ☐ TKIP ☒ AES

キーの種類:

暗号キー:

パスワードの表示: ☐

- 10 ☐ 「パスワードの表示」をチェックすることで、入力中のパスワードを表示できます。

- 11 「適用」をクリックします。

- 12 「正常に設定を変更しました!」というメッセージが表示されたら、「今すぐ再起動する」をクリックします。

本製品が再起動すると、設定反映が完了し、SSIDと暗号キー(パスワード)の変更は完了です。

電波強度の変更

- 1 本紙の「管理画面へのアクセス方法」を参照してお使いの端末から管理画面を開きます。

- 2 画面左のメニューリストから「無線設定」をクリックした後、「詳細設定」をクリックします。

- 3 「送信出力」から、設定したい電波強度を選びます。

- 3 ☐ 電波強度について
「100%」で、半径20m程度まで電波が届きます。
■ 上記の距離は目安であり、環境により届く距離は変化します。

詳細設定
Wi-Fi(無線LAN)の詳細設定を行います。
※本項目は、Wi-Fi(無線LAN)に関して十分な知識を持っている上級者向けです。

プライバシーセパレータ: ☐ 有効 ☒ 無効

送信出力: ☒ 100% ☐ 70% ☐ 50% ☐ 35% ☐ 15%

- 4 「適用」をクリックします。

- 5 「正常に設定を変更しました!」というメッセージが表示されたら、「今すぐ再起動する」をクリックします。

本製品が再起動すると、設定反映が完了し、電波強度の変更は完了です。

- ・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- ・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
- ・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ・Microsoft®、Windows Vista®、Windows® は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名/社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。